

有限会社 テクノ神明

ステンレス加工のノウハウで
顧客の課題を解決

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



少数精鋭部隊が加工を手がける

主な事業内容

ステンレス、アルミ、鉄、真ちゅう、
難削材などの加工

主な取引先(納入先)

工業用測定機器メーカー、自動車関連商社、
衛生用品製造機器メーカー

主な製品

測定機器部品、自動車組立ライン治具部品、
衛生用品製造機器部品

業務
内容ステンレス加工中心に
金属加工を展開

テクノ神明は、旋盤加工に軸足を置く
金属加工会社。汎用旋盤やNC（数値
制御）旋盤などを駆使し、ステンレス
やアルミ、鉄などから、インコネル、
ハステロイといった難削材まで加工
できる対象は幅広い。昭和32年の創業
当初は、鉄製パイプのカットやねじ切り
がメインだった。創業から7〜8年目
に温度計部品を受注するにあたって、
ステンレス加工に舵を切った。以来、
多くのステンレス加工ノウハウを蓄積
し、他社がさがしを投げるような加工
さえ、顧客が納得する品質で提供して
きた。だからこそ、まっとうな加工費
を設定する。「いいモノが安いわけが
ない」と、山本悦司社長は力を込める。

強み
長年のノウハウ蓄積で
難しい加工にも対応

昔の旋盤加工の現場は市販のワークス
を調達し、火をおこして刃物台を作った
という。調達したチップも削り直して、
バイトにろう付けを行う。棒状のチップ
母材を用いて「すくい」をつけるなど
バリエーションが幾通りもあった。同社
はこうしたノウハウを受け継ぎ、市販の

刃物で加工できないワークで生かして
いる。

また、工程中の検査によって、高品質
加工を実現している。最低でも抜き取り
検査によって公差をチェックし、必要
があれば適正に補正する。他社で不良
が発生する形状も、問題が起きたこと
はない。「品質、精度の評価は高い」と
山本社長は胸を張る。

設備
投資
新設備導入でさらに
難しい加工へ挑戦

現在、手がける製品は自動車メーカー
向けの治具や半導体製造装置部品など
要求精度の高いものも多い。そこで平成
30年に複合加工機、令和元年に3次元
測定器を導入した。「さらに難しい加工
を可能にし、これまで得られなかった
データを取って顧客の納得を得る」と
山本社長は解説する。さらに営業改革
にも手をつけた。社長のトップセールス
をやめ、営業の専任トップを置いた。
今後は営業と製造の役割分担を明確に
し、能動的に展開させる。

山本社長は「工場も手狭になってきた」と
語る。次にバトンを渡すことを考え
ており、65歳までの6年間で思い描く
青写真の実現をめざす。

社長あいさつ

代表取締役
山本 悦司さん

少数精鋭で、適正なコスト・ハイクオリティのもののづくりに楽しく取り組んでいます。創業以来、蓄積してきた多くのノウハウは当社の強み。現在は難削材や樹脂、そのほかの部材も加工対象に、試作から量産まで対応しています。設備の充実で当社の事業領域は、さらに広がっています。

主な保有設備

- NC旋盤 QT 8N (φ200×270L)
ヤマザキマザック製 1台
- NC複合旋盤 SQT 10N
(φ250×300L・φ43/バーフィード付)
ヤマザキマザック製 1台
- NC複合旋盤 NL 2000Y
(φ300×500L・φ65/バーフィード付)
DMG森精機製 1台
- NC複合旋盤 CL 1500
(φ250×300L) DMG森精機製 1台
- NC複合旋盤 QUICK TURN 100MY
(φ250×300L) ヤマザキマザック製 1台

ISO 9001
JISQ 9100

住 所 / 〒591-8014
堺市北区
八下北2-34
TEL / 072-257-3134
FAX / 072-257-3001
創 業 / 昭和32年9月
設 立 / 平成9年9月
資本金 / 300万円
従業員 / 7名



3次元測定機による測定



令和2年導入の新型複合旋盤



<http://www.techno-shinmei.co.jp/>